

食でサポート



『あなた、ご飯食うたん？』

～子どもの心を開く大人の向き合い方～

中本忠子／著 カンゼン 2017年 (327.85)

保護司である著者は、空腹と非行は関係があることを知り、子どもたちとの間に3つの約束を作り、それらを大切にすることで信頼関係を築あげていった。そうして約40年間、子どもたちに食事を提供し続ける中で、子どもたちがどのように変化していったのかを本書の中で綴っている。

『子ども食堂をつくろう！』

～人がつながる地域の居場所づくり～

豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク／編著
明石書店 2016年 (369.4)

「今日うちでご飯食べていきなよ。」から始まる、地域住民だからこそこできるちょっぴりおせっかいなサポート。そこから見えてくる子どもの本音に耳を傾け、子どもの居場所広げていきたい。と考える作者がこれから子ども食堂を作りたい人たちへQ&A や体験を交え分かりやすく親切に解説。

『からっぽの冷蔵庫』

～見えない日本の子どもの貧困～

米山けい子／著 東京図書出版
2018年 (369.4)

戦時中でもない現代の世の中に弟妹のために食事を我慢している子どもたちがこの日本にいることをご存じでしょうか？著者はそんな世の中が変わっていくことを願いながら、フードバンクの活動を通してわかった、貧困家庭の様々な事例を紹介。

『子どもの欠食・孤食と生活リズム』

～子どもの食事を検証する～

藤澤良知／著 第一出版 2010年 (498.5)

子どもにとっての食習慣は医学的にも、精神面においても影響が大きい。幼少期から「早寝、早起き、早ごはん」を習慣づけることで体内時計を整えることが大切。本書では小中学生へのアンケートをもとに、食生活における現代社会の実状を把握すると共に問題点を浮き彫りにする。

「食でサポート」に関する資料

* 『現場報告“子ども食堂”これまで、これから』
与野輝／著 茅野志穂／著
いのちのことば社 2019年 (369.4)

* 『地域で愛される子ども食堂づくり方・続け方』
飯沼直樹／著 翔泳社 2018年 (369.4)

* 『フードバンク
～世界と日本の困窮者支援と食品ロス対策～』
佐藤順子／編著 明石書店 2018年 (611.3)

* 『子どもの貧困と食格差～お腹いっぱい食べさせたい～』
阿部彩／村山伸子／可知悠子／馬咲子／編著
大月書店 2018年 (369.4)

* 『フードバンクという挑戦
～貧困と飽食のあいだで～』
大原悦子／著 岩波書店 2008年 (611.3)

* 『ばっちゃん
～子どもたちの居場所。広島のマザー・テレサ～』
伊集院要／著 扶桑社 2017年 (327.85)



※ () 内は分類番号です。

困ったときの参考に！

- *『居場所づくりにいま必要なこと
～子ども・若者の生きづらさに寄りそう～』
柳下換／高橋寛人／編著 鈴木健／[ほか]著
明石書店 2019年 (369.4)
- *『すき間の子ども、すき間の支援
～一人ひとりの「語り」と経験の可視化～』
村上靖彦／編著 明石書店 2021年 (369.4)
- *『うちの子よその子みんなの子
～本音の付き合い、だから20年続いている～』
貝塚子育てネットワークの会／編著
山縣文治／監修 ミネルヴァ書房 2009年 (369.4)
- *『生きづらさの生き方ガイド
～不登校・ひきこもり・発達障害・LGBTQ+ 本人・家族の
本音と困りごと別相談先がわかる本～』
大橋史信／岡本二美代／共著 日本法令
2021年 (371.42)
- *『今、もっとも必要なこれからの子ども・子育て支援』
土谷みち子／編著
汐見稔幸／汐見和恵／野井真吾／山本詩子／著
風鳴舎 2021年 (369.4)



※（ ）内は分類番号です。

子どもの孤立について



2022年2月

ミニ企画展示

多摩市立図書館本館